

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数200文字以内。写真は、1枚につき50文字以内。（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月10日
 ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
 ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
 伊佐市大口里1888番地
 総務課広報係（大口庁舎）
 「和みのひろば」係
 ☎1311
 ①1116・1117
 ✉koho@city.isa.lg.jp



二月三月花盛り、うぐいす鳴いた春の日の楽しい時も夢のうち。五月六月実がなれば枝からふるい落とされて、近所の町へ持出され何升何合量り売り。もとよりすっぱいこのからだ、塩に漬かってからくなり、しそに染まって赤くなり、七月八月暑い頃、三日三晩の土用干し思へばつらいことばかりそれも世のため、人のため。しわはよっても若い気で小さい君らの仲間入り、運動会にもついて行く。まして戦のその時は無くてはならぬこの私。

（本城 うめぼしの歌 90代）

『大口小学校で戦後初の学芸会があったとき、婦人会の飛び入りで松永さん、大脇さんが「金色夜叉」をなさった。ホウバの下駄で浪子を蹴るときなど、会場は爆笑した。見渡すと、大半が竹皮に銀めしを持ってきていて、「さすが米どころ伊佐だ」と思った。』
 一月中旬、テレビの天気予報で「今日は

快晴だったが夜は少し雲が出るかも：貫一雲という：尾崎紅葉の：」というアナウンサーの声に、つい昔を思い出し投稿しました。（大口 ふるさと大好き 年齢不詳）

吹く風にも春のにおいを感じられる頃となりました。広報いさ2月号に民生委員さんが掲載されていましたが、私たちのまちにも民生委員さんがいらっしやることで安心できると思います。

私はお友達が老若男女いて、会話ももちろん楽しいですし、相談もしたり、アドバイスを頂いたり、自分のためにも良いです。会話をすることは大事なことだと思います。（山野 ゆきちゃん 40代）

うめぼしの歌さん、明治末に小学校国語の教科書に掲載されていたことが。初めて拝見しましたが、梅干しの気持ちや四季の移り変わりなど生活の営みがわかる楽しい歌ですね。梅干しの喜怒哀楽が伝わりました。



編集後記

「平田塾」塾生募集の記事を掲載しました。陶酔して太鼓をたたいていらっしやるのが平田大一先生（45歳）です。4月からの講座を前に2月8日に講演会が開かれたのですが、太鼓だけでなく笛も吹く、もう少し時間があつたら島の踊りも披露しそうな明るい先生でした。お話から「地元（沖縄県小浜島）に対する強い愛着と誇り」、「豊かな個性と感性」が伝わりました。

これからの伊佐市はどうなるのだろうか？と漠然とした不安や悩みを抱える人、よし自分がまちを変えるんだと意気込む人、次世代を担う人材を粹にとらわれず育成するためにこの講座が始まります。皆さんが地域のリーダーをめざす必要はありません。地域を知り、人となりが、新たな自分で感動体験してみませんか。心配しなくても大丈夫、太鼓たたいたり踊ったりするわけではありませんから、何かのヒント探しに参加してみてください。私も踊りは苦手ですけど、自分のやる気スイッチを探してみようかな。



人口のうごき
 （住民基本台帳から）

H26. 1.31 現在（前月比）

総人口	28,684人	(- 41)
男	13,268人	(- 23)
女	15,416人	(- 18)
世帯数	14,105世帯	(- 18)